

錦江湾高校 SSH通信



全国高等学校総合文化祭
鹿児島大会出場!!



今年は文化系部活動のインターハイともいわれる全国高等学校総合文化祭が鹿児島にて開催され、本校からも県大会で優秀な成績を収めた以下の研究班が科学の研究発表を行う自然科学部門に参加しました。

ポスター部門

ザトウムシ班

「なぜ、ギンボシザトウムシはクモの巣に引っかかるのか?」というテーマで研究を行いました。ギンボシザトウムシとオオヒメグモとの関係性を解明しています。

物理部門

石けん班

シャボン玉を使って楽しく研究したいという思いがきっかけで、研究を行なっていき、初めてのプレゼン作成なども経験することができました。

プロジェクト班

分光光度計という、研究には欠かせない高価な機器を学校のプロジェクトを用いて、測定部分をわずか1000円で作製しました。

サクラ班

「なぜ、サクラの散り方は美しいのか?〜日本の美を科学する〜」というテーマで研究してきました。サクラの花弁の落ち方には様々なパターンがあり、落下速度や距離も異なることがわかりました。

化学部門

竹班

竹から取り出した溶液を利用することで「紫外線を遮断する」効果があることがわかりました。地元企業と連携して自然由来の日焼け止めの製品化を目指しています。

生物部門

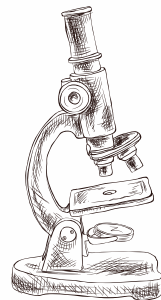
カブトムシ班

先行研究によってカブトムシは2種に分けられることが示唆されています。ではその境界線はどこにあるのか?「境界線は台湾海峡にある」という仮説を羽化日や交雑実験から検証しました。

地学部門

BSアンテナ班

雨が降るとBS放送の映りが悪くなることから、豪雨予測に活用できないかと思ひ研究を進めてきました。東京の企業とも連携し、実用化を目指しています。



実績紹介



出場校中 最多受賞

最優秀賞

BSアンテナ班

「BSアンテナで局地的豪雨予測Ⅳ」

奨励賞

ザトウムシ班

「なぜ、ギンボシザトウムシはクモの巣に引っかかるのか?」

カブトムシ班

「探せ!カブトムシの種を分ける境界線」

プロジェクト班

「プロジェクトを用いた簡易分光光度計の開発Ⅲ」



令和5年度(前期) 錦江湾高校 SSH事業を紹介



4月

錦江湾洋上体験学習

↓大宮教授による講演の様子



1年生を対象に桜島フェリーを貸し切り、大宮教授(鹿児島大学水産学部)による講演やかごしま水族館での海洋生物の観察を行いました。

↓水族館での様子



4月

先輩からのアドバイス講座

↓3年生おじ自身の研究の説明



3年生から1・2年生に向けて課題研究についてのアドバイス講座を行いました。ホワイトボードを使って後輩から多くの質問がありました。

↓1・2年生おじの質問の様子



5月

課題研究発表会

↓口頭発表の様子



3年生が錦江湾高校で行ってきた探究活動の成果を発表しました。後輩の1・2年生は真剣な眼差しで先輩の発表を聞いていました。

↓ポスター発表の様子



5月

研究者講義

↓宮原氏(株式会社エルム)



鹿児島から世界に挑戦し続ける企業である株式会社エルムの宮原氏(代表取締役)から日頃の気づきの大切さを教えていただきました。

↓講義の様子



6月

写真コンテスト

↓生徒の撮影風景



校内で日頃意識していないと気づかないことを探し出し、写真で撮影するコンテストを行いました。生徒からおもしろい「気づき」がたくさんありました。

↓クモの巣に穴が空いていものほせせ?



7月

自由研究お助け隊

↓本校生おじ小学生へアドバイス



小学生を対象に本校生や本校職員から自由研究の取り組み方をアドバイスするイベントを行いました。体験型の内容が魅力です。

↓昆虫採集の様子



9月にHPやチラシで参加者を募集しています

7月

新聞ポスターコンテスト

↓発表準備の様子



普通科の生徒を対象に新聞記事から自身が気になる内容を深く調べ、発表するコンテストを行いました。グループでのコミュニケーションも重要です。

↓グループでの話し合いの様子



9月

湾ぱく探究コンテスト

↓小学生の発表の様子



小中学生を対象に夏休みの自由研究を発表するコンテストを開催しました。鹿児島大学の先生を審査員としてお招きしました。

↓小学生へアドバイス



9月にHPやチラシで参加者を募集しています

Blog



HP



Instagram

